

固定発-携帯着通話の料金水準見直しについて

2021年3月2日
ソフトバンク株式会社

固定発携帯着通話の料金水準見直し

当社では、表題通話にかかる発側への料金設定権移行に先立ち、下記の通り自主的に料金水準を見直すことと致しました。

見直し料金について、課金単位の制約*や、現行のNTT西日本発楽天モバイル着の水準(3分60円)も考慮しつつ、2021年5月1日から全国一律3分60円へ引き下げ致します。

*現在のNTT東西殿との課金(柔軟課金)では相互接続での標準仕様(TTC 標準 JJ-90.10)の関係上、課金単位として「x秒あたり10円」(10円単位の設定)となること

なお、PHSについては、上記料金水準見直しにより却って料金値上げになる距離・通話時間区分(次頁参照。以下「区分」)が存在するため、全区分について1通話あたり10円の料金を廃止した上で、上記値上げに該当する区分については料金を据え置き、その他の区分については、一律3分60円とする考えです。

固定発携帯着通話の料金水準見直し

PHS に係る現行通話料金(10 円でかけられる秒数)

	平日		土日祝	夜間
	8 時～19 時	19 時～23 時	8 時～23 時	23 時～8 時
同一区域内	60 秒			70 秒
隣接～30km まで	45 秒			60 秒
60km まで	26 秒	30 秒		45 秒
100km まで	18 秒	26 秒		36 秒
160 km まで	15 秒	20 秒		26 秒
160km 超		17 秒		20 秒

黄色の区分は、料金据え置き

白色の区分は、3 分 60 円(30 秒/10 円)に見直し